

令和3年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について

【令和3年度 実施状況】

1 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）

(1) 低栄養防止・重症化予防の取組

ア 栄養・口腔に関わる相談・指導

対象者数：269人

抽出基準：令和2年度後期高齢者等健康診査の結果、次に該当する者

- ・低栄養 BMI18.5未満かつ、健康診査問診項目 No13（体重減少）
- ・口腔 低栄養状態にある者（上記アの対象者）で、健康診査問診項目 No11,12（口腔機能）

※KDBシステムにより、がん及び人工透析による受診中の者、要介護1以上の者は対象外

実施内容：6月下旬対象者へ通知

7月～8月電話により状況把握し、必要な対象者に訪問

電話	支援状況						継続支援				
	不在・不達等	助言終了	継続支援 必要なし	介護予防サ ービス等利用	継続支援 希望なし	その他	訪問指導	電話フォロー	資料送付	健診確認	
269	36	170	23	22	114	11	63	9	21	25	8

イ 生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導

(ア) 糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導

対象者数：52人

抽出基準：令和2年度こくほ健康診査の結果、次に該当する75～76歳の者

- ・空腹時血糖 126mg/dl以上または「HbA1c 6.5%以上」かつ
- ・「尿蛋白（+）以上」または「尿蛋白（±）以下、かつ、eGFR45未満」

※現在通院により治療を継続している方で、本人が事業への参加を希望し、かつ主治医より事業への参加が認められた者

※KDBシステムにより、がん及び人工透析による受診中の者、要介護1以上の者は対象外

参加者数：8人（プログラム開始前に辞退1人）

実施内容：5月中旬対象者へ通知。参加希望の確認

6月～7月主治医の指示書を確認。参加者の確定。

7月～糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラム実施（藤沢市保健医療財団委託）

	改善	維持	悪化	評価不能
血糖値	4	2	0	1
腎機能 (eGFR区分)	1	4	1	1
血圧	2	5	0	0

(イ) 未治療者への生活習慣病重症化予防のための受診勧奨

対象者数：928人（血圧287人、血糖220人、腎機能282人、複数リスク139人）

抽出基準：令和2年度後期高齢者等健康診査の結果、次に該当する者

- ・糖尿病 空腹時血糖 126mg/dl以上または、HbA1cが6.5%以上
- ・高血圧 収縮期血圧 160mmHg以上または拡張期血圧 100mmHg以上
- ・腎機能 尿蛋白+以上かつ eGFR45未満

※KDBシステムにより、医療受診中の者、がん及び人工透析による受診中の者、要介護1以上の者は対象外

実施内容：6月下旬対象者へ通知

10月中旬～KDBシステムにより受診状況等確認

11月下旬～受診が確認できなかった者について電話にて状況確認、受診勧奨
(腎機能のリスク(複数リスク含む)のある者 126名対象)

	受診勧奨者数	医療受診者数	受診率
血圧	287	45	15.7%
血糖	220	77	35.0%
CKD	282	213	75.5%
多重リスク※	139	74	53.2%
計	928	409	44.1%

2 医療専門職による高齢者の集まる場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ）

(1) 高齢者の集まる場等におけるフレイル予防普及啓発事業

- ・フレイル予防の普及啓発、健康教育・健康相談
- ・フレイル状態の高齢者を把握し、状態に応じた保健指導や介護サービスの利用勧奨等

対象地区：13地区

実施地区：13地区

実施内容：4月～ 庁内関係課、関係機関と実施場所等について調整

7月～ 各所に保健師、栄養士または歯科衛生士が訪問しフレイルリスクチェック及び健康教育等を実施

実施場所分類				内容						参加人数	フレイルリスクチェック実施人数	
				健康教育			健康相談					
				回数			人数 (延べ)	回数	人数 (延べ)			
地域ささえあいセンター	介護予防特化型地域の縁側	地域の縁側(基本型)	その他	フレイル予防全般	食事	歯・口腔				回数	人数	回数
4	2	6	3	21	11	11	2	254	2	20	274	218

(2) 健康チェック事業（藤沢市保健医療財団委託）

実施回数：2回

実施内容：片瀬人生会議（12月）、遠藤人生会議（2月）にて実施

実施分類 場所	内容					
人生会議	フレイルリスクチェック(質問票)	測定	相談			他機関紹介
		握力測定	栄養相談	運動相談	生活相談	
2	36	36	5	25	11	12

3 健診・医療等のデータ分析

(1) KDBシステムを活用した地域の健康課題の分析

後期高齢者の健康に関する現状について分析を実施

(2) 対象者の把握

実施内容：KDBシステムを活用し、上記1の対象者を抽出

令和4年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について

【令和4年度 実施状況（12月末時点）】

1 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）

(1) 低栄養防止・重症化予防の取組

ア 栄養・口腔に関わる相談・指導

対象者数：低栄養：250人 口腔（再掲）：122人

抽出基準：令和3年度後期高齢者等健康診査の結果、次に該当する者

・低栄養：BMI18.5未満かつ、質問票No6（体重減少）

：BMI18.5未満かつ、令和2年度健診結果から3kg以上の体重減少が確認できた者

・口腔：低栄養状態にある者（上記対象者）で、質問票4.5（口腔機能）

※KDBシステムにより、がん及び人工透析による受診中の者、要介護1以上の者は対象外

実施内容：5月初旬対象者へ通知

5月～7月電話により状況把握し、必要な対象者に訪問

実施結果：

通知	電話による状況確認	助言終了	継続支援	訪問指導	電話フォロー	助言終了	他機関紹介
250	221	178	43	15	28	34	9

口腔(再掲)

通知	電話による状況確認	助言終了	継続支援	訪問指導	電話フォロー	助言終了	他機関紹介
122	106	83	23	11	12	17	6

イ 生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導

(ア) 糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導

対象者数：55人

抽出基準：令和3年度こくほ健康診査及び後期高齢者等健康診査の結果、次に該当する75～76歳の者

・空腹時血糖126mg/dl以上または「HbA1c 6.5%以上」かつ

・「尿蛋白(+)以上」または「尿蛋白(±)以下、かつ、eGFR45未満」

※現在通院により治療を継続している方で、本人が事業への参加を希望し、かつ主治医より事業への参加が認められた者

※KDBシステムにより、がん及び人工透析による受診中の者、要介護1以上の者は対象外

参加者数：6人

実施内容：4月初旬対象者へ通知。参加希望の確認

4月下旬主治医の指示書を確認。参加者の確定。

5月～糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラム実施（保健医療財団委託）

(イ) 未治療者への生活習慣病重症化予防のための受診勧奨

対象者数：825人（血圧271人、血糖252人、腎機能181人、複数リスク121人）

抽出基準：令和3年度後期高齢者等健康診査の結果、次に該当する者

・糖尿病 空腹時血糖126mg/dl以上または、HbA1cが6.5%以上

・高血圧 収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上

・腎機能 尿蛋白+以上かつeGFR45未満

※KDBシステムにより、医療受診中の者、がん及び人工透析による受診中の者、要介護1以上の者は対象外

実施内容：4月下旬対象者へ通知

8月～KDBシステムにより受診状況等確認

9月下旬～受診が確認できなかった者について電話にて状況確認、受診勧奨
(腎機能・血糖のリスク(複数リスク含む)のある者 89名対象)

2月 KDB システムにより受診状況等確認予定

2 医療専門職による高齢者の集まる場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ）

(1) 高齢者の集まる場等におけるフレイル予防普及啓発事業

- ・フレイル予防の普及啓発、健康教育・健康相談
- ・フレイル状態の高齢者を把握し、状態に応じた保健指導や介護サービスの利用勧奨等

対象地区：13地区

実施地区：12地区

実施内容：各所に保健師、栄養士または歯科衛生士が訪問しフレイルリスクチェック及び健康教育等を実施

実施の場の数(実)	実施回数(延べ)	参加人数	フレイルリスクチェック実施人数	ハイリスク者の把握とフォロー	他機関へのつなぎ
39	41	609	574	65	1

(2) 健康チェック事業（藤沢市保健医療財団一部委託）

実施回数：9回（延べ）

実施内容：おれんじキャンペーン、辻堂おたのしみ昼食会（3回分）、湘南台1日健康デー、湘南大庭地区健康イベント

2月以降、地域活動見本市、村岡防災フェア、遠藤健康イベント、御所見健康イベントにて実施予定

実施の場の数(実)	実施回数(延べ)	測定人数	フレイルリスクチェック実施人数	ハイリスク者の把握とフォロー	他機関へのつなぎ
6	9	151	156	12	2

3 健診・医療等のデータ分析

(1) KDBシステムを活用した地域の健康課題の分析

- ・後期高齢者の健康に関する現状について分析中
- ・令和3年度後期高齢者等健康診査結果等に基づき、地域にて健康課題の情報共有

(2) 対象者の把握

実施内容：KDBシステムを活用し、上記1の対象者を抽出

以上

知っておきたい口腔ケアのエビデンス

～withコロナで初心に戻る口腔ケア～



適切な口腔ケアは、歯科疾患予防だけでなく誤嚥性肺炎などの全身疾患を予防し、QOL（生活の質）を向上させることができます。

しかし、口の中の問題については、見過ごされたり、後回しになることが多いのも現実です。

今回は、withコロナだからこそ初心に戻り、高齢者を見守る立場の皆さんと一緒に「口腔ケアの必要性」について再確認していけたらと思います。

開催日

令和5年3月9日(木)

18:30～20:00

講師紹介

鈴木 聡行 先生

(鈴木デンタルクリニック院長
前藤沢市歯科医師会会長)



対象

保健・医療・福祉業務に従事する職種
(介護福祉士、ホームヘルパー、ケアマネジャー、
看護師、保健師、管理栄養士、栄養士、
歯科医師、歯科衛生士等)

藤沢市内で開業。外来診療だけでなく訪問歯科診療にも力を入れて活動され、在宅療養中の方のQOL向上にもご尽力。

お申し込み方法

申し込み期間：2/6(月)から3/6(月)まで

① e-kanagawa電子申請



お申し込み用QRコード

② FAX



本紙裏面の用紙で
FAX 0466-50-0668へお申し込み

「令和4年度 在宅療養者等口腔ケア研修会」 申し込み

ご所属名 _____

連絡先 (TEL) _____

お名前 (フリガナ)	職 種	連絡先 (e-mail)

※頂いた連絡先 (e-mail) へ、3月9日の研修会参加に必要なミーティングID・パスワード、URL等を後日、お送りいたします。ご記入のほど、どうぞよろしく願いいたします。

(e-mailの誤りが多いのでご注意ください)

口腔ケアや在宅歯科診療に関して講師の先生にご質問やお聞きしたいこと等がございましたらご記入ください。(※可能な範囲で、講師の先生にご回答して頂きたいと思っておりますのでご了承下さい。)

(_____)

お申し込み・お問い合わせ先

藤沢市 健康づくり課

TEL 0466-50-8430

FAX 0466-50-0668

受付開始：2月6日(月)9時～